



Slack で AI を 使って仕事を 変革する 10 の方法



目次

はじめに.....	3
01 : Slack 上で AI エージェントと協働して生産性を向上	4
02 : Slack チャンネルで誰もが連携	5
03 : Salesforce チャンネルで顧客中心のアプローチを実現.....	6
04 : Slack コネクで社内外の関係者と連携	7
05 : あらゆる場所に埋め込まれた Slack AI で仕事をスピードアップ.....	8
06 : 役立つアプリや AI アシスタントを Slack Marketplace で発見.....	9
07 : ワークフローとカスタムアプリでタスクを効率化	10
08 : Slack テンプレートで仕事を進める環境をすばやく整備.....	11
09 : ハドルミーティングとクリップでコミュニケーションを加速	12
10 : 会社全体のデータを Slack から直接検索	13
まとめ : 仕事の変革に向けて.....	14
近日登場 : 今後のイノベーション.....	15

Slack はデジタルエージェント時代の仕事の基本システム (Work OS)

わずらわしいアプリの頻繁な切り替えで集中力が失われる時代にサヨナラしましょう。Slack は今や単にメッセージをやり取りするだけのプラットフォームではありません。人、データ、ドキュメント、アプリ、AI エージェントとのやり取りを 1 つのハブに集約する、仕事の基本システム「**Work OS**」へと進化しています。

Slack が真の Work OS である理由、それは、これまで組織の足かせとなっていたコミュニケーションや知識のサイロ化を防ぎ、仕事を前に進めるプラットフォームであること。その力は数字にも現れています。



人

7 億

1 日に送信されるメッセージの数



ワークフロー

300 万

1 日に Slack で使用されるワークフローの数



アプリ

2,600 以上

Slack Marketplace で提供されるアプリの数



データ

640 万

1 か月に Slack で共有される Salesforce レコードの数



AI とエージェント

13,000

Slack で作成・導入された AI アプリの数

こうした特長により **47% の生産性向上が導かれています。**

Slack なら、アプリ間を行き来したり、ウィンドウを切り替えたり、作業を中断したりすることなく、チームが協働しているその場所でアプリやデータにアクセスできます。会話型のプラットフォームである Slack では、ユーザーは同僚と会話するのと同じように、自然言語でアプリやデータとやり取りできます。こうしたやり取りを積み重ねることで、検索可能なナレッジのリポジトリが形成され、組織はいつでも有益なインサイトを引き出せるほか、生成 AI への関連情報の供給に

も役立ちます。これによりチームは情報を見失うことなく、これまで以上にすばやくデータを検索して、インサイトを発見できるようになるのです。

それでは、**Slack とエージェント型 AI で働き方を変革する 10 の方法**を見ていきましょう。

Slack 上で AI エージェントと協働して生産性を向上

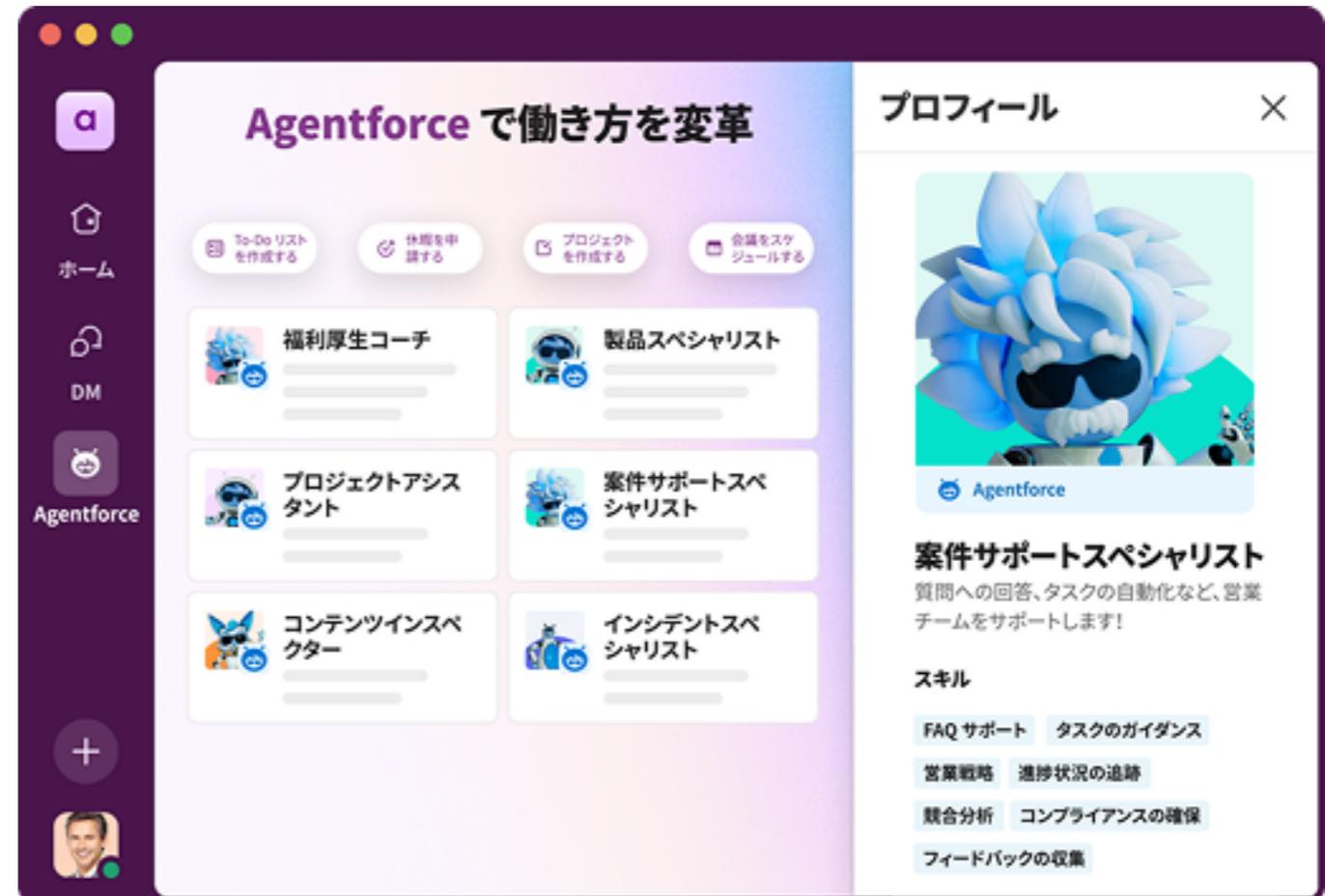
AI エージェントを導入して従業員一人ひとりの生産性を飛躍させるのに、Slack は理想的なプラットフォームです。従業員向けのエージェントを Slack に組み込むことで、チームは日々の業務フローのなかでスムーズに AI を活用できます。たとえば以下のことが可能になります。

- **従業員オンボーディングの効率化**：新しく入ったメンバーは、オンボーディング専用のエージェントを使って必要な情報やリソースを見つけられます
- **IT サポートのセルフサービス化**：従業員はヘルプデスクエージェントを使って、デバイスの紛失など IT 関連のよくある問題を自ら解決できます
- **営業活動のスピードアップ**：案件サポートエージェントがアクションの提案やドキュメント作成を行って、営業チームを支援します

従業員はチャンネル内で、人間の同僚と話すのと同じように、AI エージェントと会話形式でシームレスにやり取りできます。

- エージェントをチャンネルに追加して、やり取りを開始
- エージェントをメンションして、自然言語で会話
- スレッドで返信することで、エージェントにコンテンツの要約・生成や、タスクの実行をしてもらえる

従業員は Slack のエージェントライブラリで利用可能なエージェントを発見し、プロフィールやスキルを確認したり、そこから直接メッセージを送信したりできます。



Slack チャンネルで誰もが連携

Slack での効果的なコラボレーションの基盤になるのがチャンネルです。チャンネルにより、人、エージェント、アプリ、データを柔軟かつ安全に集約できます。

- 必要に応じて誰もがチャンネルを作成でき、いつでも参加・退出が可能
- トピック、会話、プロジェクトごとにチャンネルを整理
- チャンネルへの参加も、不要になった際のアーカイブも簡単

活用例

新しいウェブサイトや製品機能のリリースを行う際には、部門を超えた調整やタイミングを合わせた共同作業が必要になります。たとえば、新機能をリリースする場合、専用のチャンネルを作成すれば、社内外の関係者全員がつねに連携を保つことができます。そのチャンネルで従業員やテスト担当者からバグの報告や機能強化のリクエストを受け取ることで、製品チームは貴重なインサイトを得て、可能なかぎり質を高めた製品を顧客に届けられます。



03

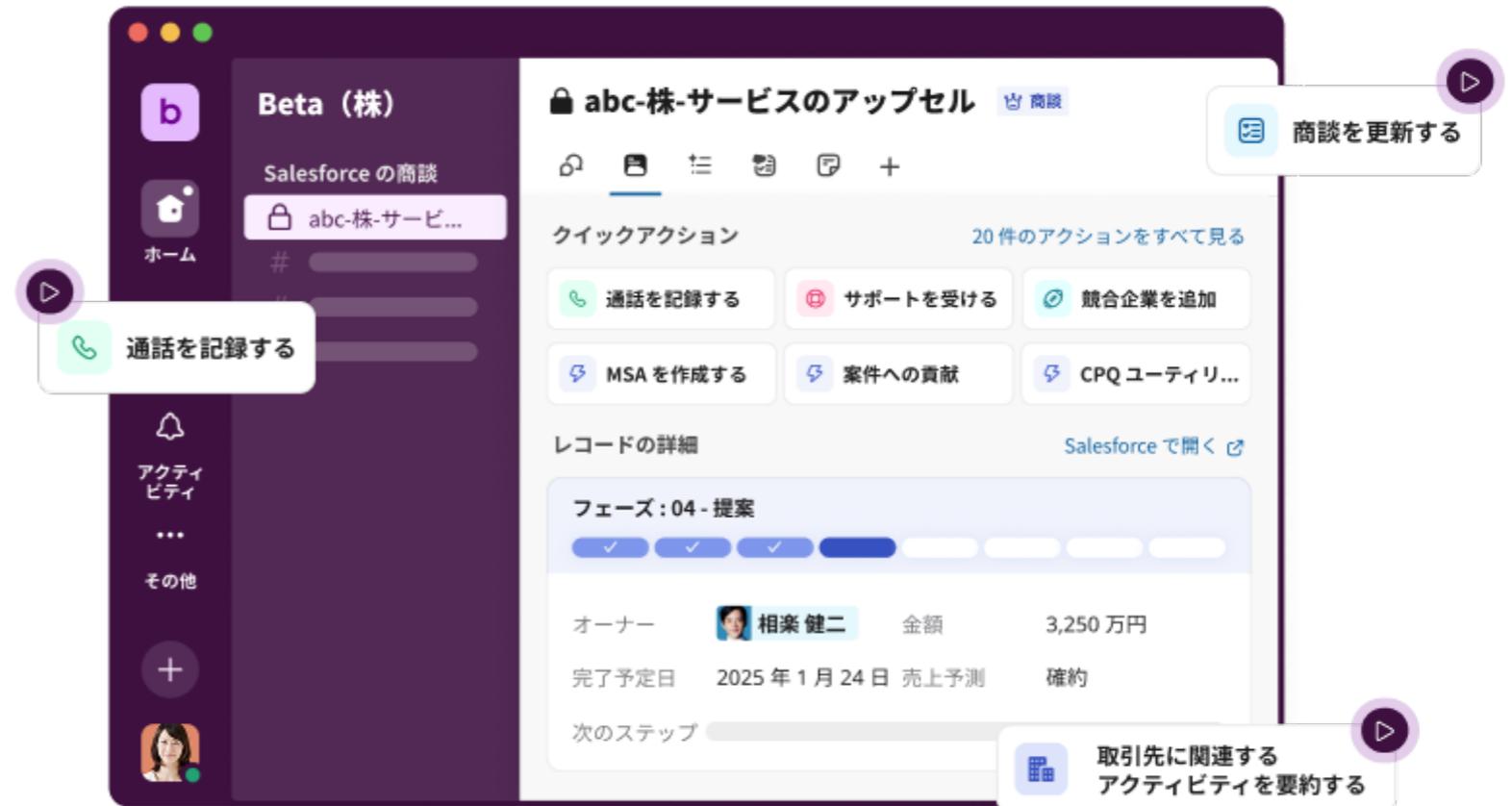
Salesforce チャンネル で顧客中心のアプローチ を実現

Slack の新しいタイプのチャンネルである「Salesforce チャンネル」では、チームの会話を対応する Salesforce レコードに直接結びつけられます。顧客のデータや背景情報に基づいて会話をすることで、顧客の全体像を明確に把握できます。

- 取引先ごとの専用チャンネルを作成することで、メンバーはそのチャンネルで情報を更新したり、リアルタイムで意思決定したりできる
- 顧客や案件、ケースと会話を結びつけて、背景や経緯を考慮に入れたコラボレーションを促進
- 関係者全員がワンチームとして顧客への理解を深め、効率的かつ迅速に顧客の成功をサポート

会話と顧客データを結びつけることは、AI が豊富な背景情報をもとに有意義な結果やインサイトを生成するための基盤になります。

Slack および Salesforce の Salesforce チャンネルは、Salesforce のスタンダードエディションをお使いで、Slack のフリープランまたは有料プランをお使いのお客さまにご利用いただけます。CRM レコードと Slack の会話を結びつけ、AI の力を利用できる一元化されたプラットフォームをご活用ください。



Slack コネクで社内外の関係者と連携

Slack コネクを使えば、ベンダーからパートナー、顧客まで、外部の関係者と安全な環境でコラボレーションして、仕事を前に進められます。

- 複数の組織で共有するチャンネルを作成できる
- セキュリティを確保しながら、コミュニケーションの壁を越えられる

82%

外部の関係者と安全に連携する方法として
Slack コネクを信頼する
フォーチュン 100 企業の割合



05

あらゆる場所に埋め込まれた Slack AI で仕事をスピードアップ

定型的なタスクは AI にまかせて、より多くの時間を意思決定に使いましょう。

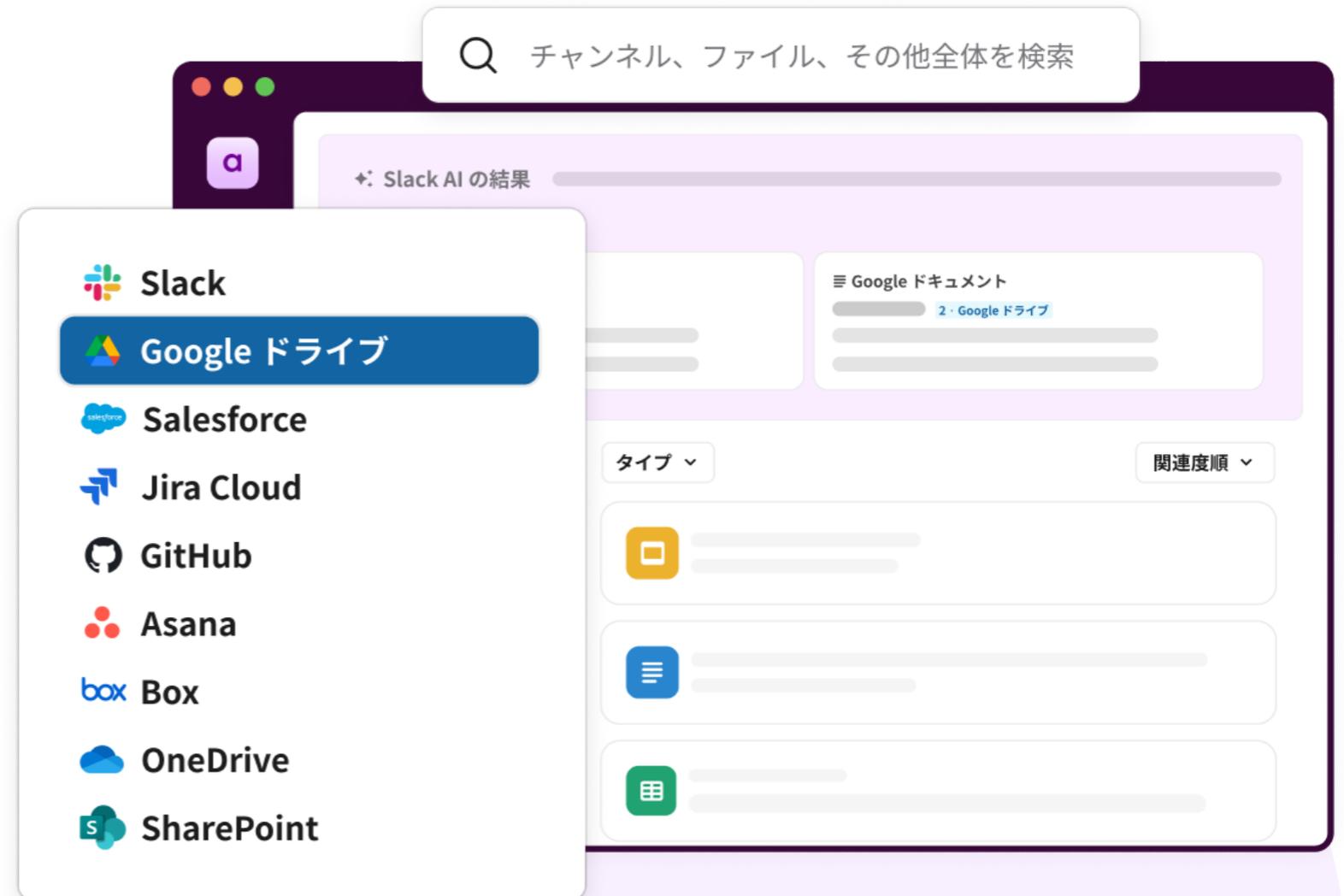
- チームの業務に合わせたカスタムワークフローを、プロンプトを使って簡単に作成
- AI に議事録をまかせて、ハドルミーティング後のフォローアップを簡単に
- AI を活用して、会話を要約し、実施項目を抽出



役立つアプリや AI アシスタントを Slack Marketplace で発見

Slack Marketplace では、Jira、Concur、Google ドライブなど **2,600 種類を超えるエンタープライズアプリ**を提供しています。Slack の UI と API をベースに拡大を続けるこのパートナーエコシステムにより、Box、Writer、Workday、Asana、Adobe、Cohere といったパートナー企業は Slack 上で AI アシスタントや AI エージェントを直接構築し、優れた AI 体験を生み出しています。このようなインテグレーションにより、ユーザーは業務ツールを 1 か所に集約し、豊かなエコシステムのメリットを享受できます。

slack.com/intl/ja-jp/marketplace にて、利用可能なインテグレーションをご確認ください。



ワークフローとカスタムアプリでタスクを効率化

簡単にプロセスを自動化できる機能で、チームの仕事推進をサポート。開発者向けには、目的別のソリューションを構築するためのツールキットが提供されます。

ワークフロー

- ワークフローの 80% は非技術系のユーザーが構築：直感的なドラッグ&ドロップのインターフェイスで作成が容易
- ワークフロービルダーにより、コーディングの必要なく、クリックだけで誰もが自動化プロセスを作成できる
- プロンプトを入力すると、ワークフロービルダーがフローを提案し、ユーザーはそれを編集して利用できる
- Asana、Google Suite、Salesforce などのアプリからのステップを接続可能

アプリ

- Slack からインフラストラクチャやツールが提供されるため、開発者はすぐに実験や試行錯誤を始められる
- Slack に蓄積された会話やデータを使って、開発者は AI の性能や利便性を高められ、すでに Slack で仕事をしているので、導入もシームレス
- 開発者は、特定の部門のニーズに合わせて Slack のオープン API を使ってカスタムアプリを作成できる



1 年で 13,000 以上

Slack で作成されたカスタム AI アプリの数

Slack テンプレートで仕事を進める環境をすばやく整備

リストや canvas、ワークフローがあらかじめ設定されたテンプレートで、典型的なタスク用のチャンネルをすばやく新規作成。チームですぐに仕事に取りかかれます。

- チャンネル、canvas、リスト、ワークフローが事前設定されたプロジェクト管理スターターキット
- 部門を超えた連携の調整に役立つマーケティングキャンペーンテンプレート
- サポートフローの整理に役立つヘルプリクエストリアージシステム

生産性向上に役立つ Slack ツールの粋を集めたテンプレートにより、特別な設定の必要なく、すぐにプロジェクトを開始して、時間を大幅に節約できます。自社のプロセスに合わせて、事前設定済みのテンプレートから選択することも、それをカスタマイズして利用することも可能です。



ハドルミーティングとクリップでコミュニケーションを加速

ミーティングをさっと開始したり、音声や動画で知見をすばやく共有したりできます。

ハドルミーティング：その場ですぐにディスカッション

- 画面共有が可能、専用スレッドに直接メモを残せるのも便利
- ミーティング後もメモはチャンネルや DM に自動で保存
- ハドルミーティングのまとめ機能で、文字起こしや議事録を自動作成

クリップ：プロジェクトの最新情報をチャンネルで非同期に共有、文字起こしも可能

- 録画したビデオメッセージを共有することで、チームメンバーは都合のよい時に視聴できる
- 会議疲れを軽減しながら、豊かなコミュニケーションを維持できる

活用例

「お客さまに新しい提案をしたり契約書を作成したりする時にはチームで仕事を進めるのですが、その際に、範囲をどう定義したのかや、特別な承認手続きが必要かといった不明点が生じることがあります。そのひとつひとつをメッセージで確認するのは手間がかかりますが、ハドルミーティングなら疑問をさっと解決できます。画面共有も可能で、専用スレッドに直接メモを残せるのも便利です。メモは、ハドルミーティングを開始したチャンネルや DM に自動的に保存されるので、ミーティング後もいつでも参照できます。さらに、ハドルミーティングのまとめ機能を使えば、文字起こしや議事録を自動作成してくれます」

NIVETHA SAMY,
SENIOR PRODUCT MARKETING LEAD

会社全体のデータを Slack から直接検索

AI を活用した Slack のエンタープライズ検索で、必要なものがすぐに見つかります。

- すべての会話、アプリ、データ、サードパーティシステムを 1 つのバーから検索
- VIP 設定により、重要な連絡先からのメッセージを Slack 内で追跡
- 重要な通知のみが届くようにして、安心して大事な仕事に集中

VIP 機能 :

- プロフィールまたは環境設定で、重要な連絡先を「VIP」に設定
- VIP からの DM、メンション、スレッド返信は優先的に通知される
- アクティビティタブ、DM、スレッドビューで、VIP からのメッセージをフィルタリング可能
- 通知を一時停止している場合にも、VIP からの通知は受信するよう設定できる



まとめ：仕事の変革に向けて

- 01** Slack 上で AI エージェントをチームメイトに
- 02** 人、エージェント、データ、アプリを柔軟なチャンネルに集約
- 03** Salesforce チャンネルで、顧客の情報を中心に会話
- 04** Slack コネクトを使って、外部の関係者と安全な環境で、共同作業や情報共有
- 05** Slack Marketplace で 2,600 種類以上のエンタープライズアプリやエージェントから選んで、すぐに利用を開始
- 06** ワークフロービルダーによりコーディングなしでプロセスを自動化、Slack のオープン API でカスタムアプリを作成
- 07** あらゆる場所に埋め込まれた Slack AI で仕事をスピードアップ
- 08** 典型的なユースケース向けに事前設定されたテンプレートで、すぐにプロジェクトを開始
- 09** クリップで非同期的に情報を共有、ハドルミーティングですばやくディスカッション
- 10** エンタープライズ検索で、接続されたシステム全体から必要な情報を検索

こうした機能の活用により、組織は以下のことを実現できます。



一元化されたデジタルワークスペースで、人、データ、ツールを結びつける



定型的なプロセスを自動化し、人間の創造性を引き出す



顧客の背景やインサイトを明らかにして、その場ですばやく意思決定する



会議疲れを軽減しながら、より効果的なコラボレーションを実現する

近日登場：今後のイノベーション

Slack と Agentforce は今後も進化を続け、エキサイティングな新機能をリリースしていきます。

- **AI パートナーシップの拡大**：IBM、Anthropic、Workday、Perplexity をはじめとするインテグレーション
- **Salesforce チャンネルの拡張**：現在、Slack で Slack Sales Elevate をお使いのお客さまが Salesforce チャンネルにアクセスできますが、今後のアップデートで Salesforce から同じ会話にアクセスできるようになります (GA 2025 年)

- **アプリディレクトリの移行**：2,600 種類を超えるアプリを擁する Slack アプリディレクトリについて、従来のインテグレーションを、Slack でエージェントを導入しやすい仕組みへと切り替えています
- Slack および Salesforce 内の Salesforce チャンネルは、Salesforce のスタンダードエディションをお使いで、Slack のフリープランまたは有料プランをお使いのお客さまにご利用いただけます。CRM レコードと Slack の会話を結びつけ、AI の力を利用できる一元化されたプラットフォームをご活用ください。

Slack と Agentforce のエクスペリエンスをさらに向上させるイノベーションの登場にご期待ください。





本資料は情報提供のみを目的としたものであり、拘束力のある文書ではありません。本資料の情報に基づいて購入の決定をしないでください。製品や機能の開発、リリース、タイミングはすべて Slack の裁量に委ねられ、変更される場合があります。

© Copyright 2025, Salesforce, Inc. All rights reserved.